

第44回里山一斉調査報告

文・写真 常俊容子(NOB・里山委員会)



図-1 アメリカオニアザミ(生態系被害防止外来種):高槻・本山寺



図-2 2018年台風被害跡整備事業地:高槻・本山寺

第44回里山一斉調査は、新たに「河内長野・わびすけ」が加わり、4月2日～19日にかけて大阪府内14コース、和歌山県1コースで開催、延べ154名(うち幼児～高校生21名)が参加しました。

概況

今年もエドヒガン、ヤマザクラ、カスミザクラ、ウワミズザクラ、イヌザクラ、ザイフリボクなどさまざまな桜から、コバノミツバツツジ、モチツツジなどの花木や春植物の花盛りを満喫。

山ではセンダイムシクイ、オオルリ、コマドリ、農地ではケリなど。昨今、磯では無いエリアで目立つイソヒヨドリ、囀り賑やかなソウシチョウ(特定外来生物)は各地で確認されています。

人の関与、土地の改変などによる影響は各地より報告あり、箕面・オケ原では、大雨対応の調整で低水位が続くオケ原池で、長年箕面ナチュラリストクラブが観察、記録しているマミズクラゲは未確認、和泉・信太山では「信太山丘陵里山自然公園」(15.6ha)として2024年8月開園以降、昭和初期の草原をイメージした復元事業が進む中で、生物多様性ホットスポットの根拠の一要素であ

る核心部の湿地で乾燥化進行、絶滅回避で移植された貴重種も生存が危ういとのこと。

里山100選やモニタリングサイト1000の里地調査コアサイト(保全協会担当)でもある枚方・穂谷では核心部で元の農空間が消失した残念な状況の中、地域で活動する里山ボランティアや高校の生物系クラブと連携した協会主導「穂谷の里山プロジェクト」進行中です。

堺・鉢ヶ峯では毎年継続した管理で維持されている多様な草地植物や稲作生態系に、「墓地」から「里山」に認識が変わったという参加者の声。

八尾・高安山では山際までの開発で「土の地面消失」、一步山に入ると様々な動物のサインがあり、数種の足跡スタンプくっきり、アナグマが初めて確認されました。

泉南・畔の谷では、ため池、泉州ならではの農村から阪和自動車道を境に化石の眠る和泉層群まで一見景観は変わらないようできて、セイヨウとカンサイのタンポポ攻防あり。

シカ

戦後、絶滅の危惧から保護の対象であった鹿が、農林業被害を及ぼす



図-3 根返りの大径木：箕面・鉢伏山



図-4 盆栽状のアカマツ：箕面・鉢伏山

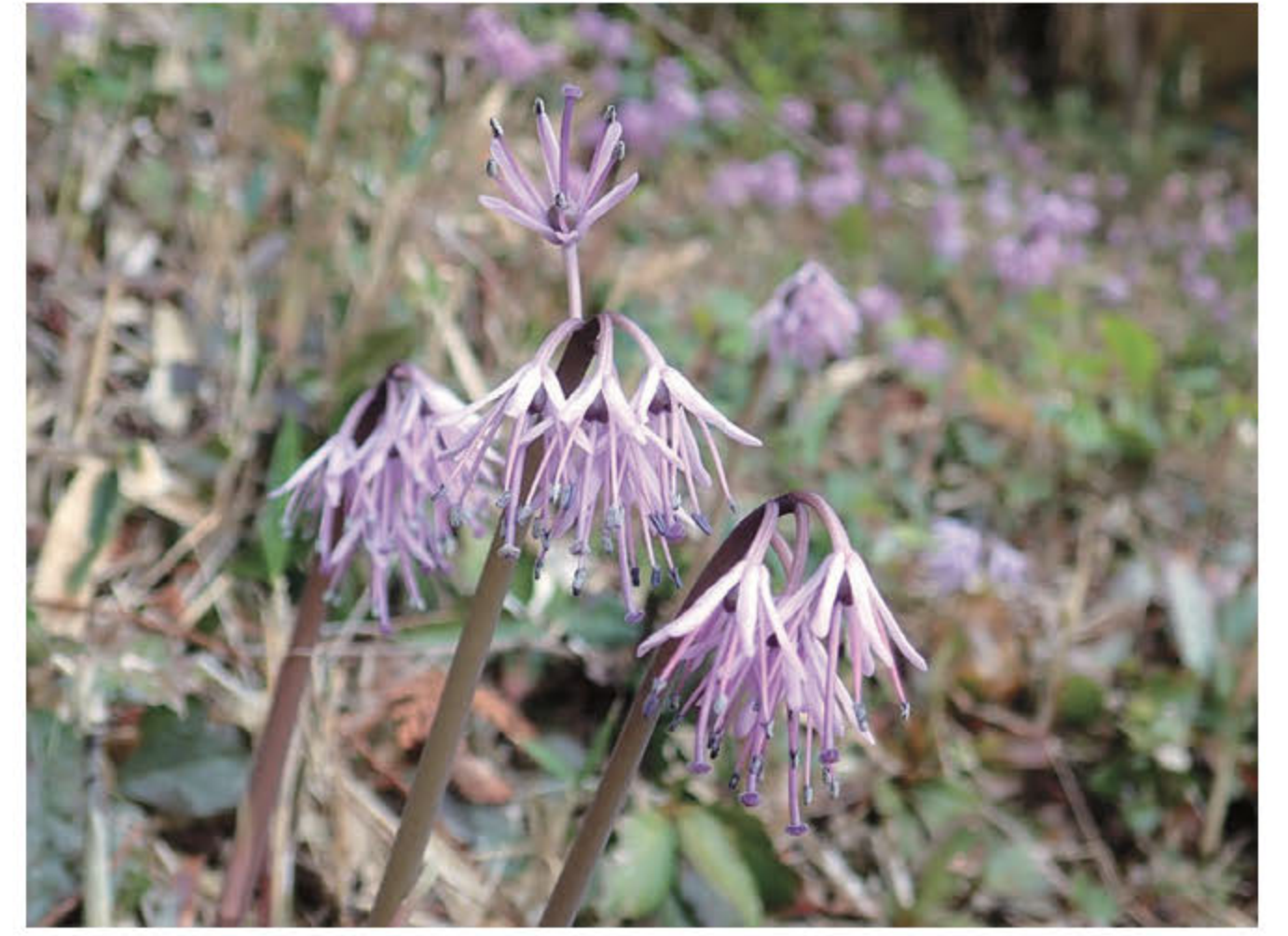


図-5 ショウジョウバカマ：枚方市・穂谷



図-6 アナグマ：八尾・高安山



図-7 ナルトサワギク：茨木丘陵・鉢伏山



図-8 観察風景：河内長野・里山わびすけ

害獣へと位置付けが転換していく状況を受け、1983年に「里山動物調査」としてスタート（「都市と自然」2025年12-1月号で詳細紹介）。北摂4市3町、里山一斉調査のコースでは能勢、箕面、池田、高槻から生息域は拡大。南部では、定着した和歌山県橋本・玉川峡で下層植生の劣化著しく、小規模な土砂崩壊が発生しています。一昨年より泉佐野・下大木でも痕跡確認（因みに当地では数km南の府県境の自動撮影カメラで、2022年に続き昨年カモシカ確認）。

また四條畷・田原の里同様にニュータウン開発で拓かれた丘陵部に残存した里山空間である新コース河内長野でも痕跡確認。大阪府としては南部での生息ゼロ目標ですが、大阪府シカ保護管理計画に基づくモニタリングではすでにメスが確認されており、定着しているといつて良いでしょう。

鹿密度に相関し林床植生は減退、アセビ、マツカゼソウ、イノモトソ

ウの仲間など、鹿不嗜好性の植物が目立つ、ナラ枯れ跡地や風倒木でできたギャップではナンキンハゼ（生態系被害防止外来種）が侵入～シカ不嗜好性かつ旺盛な成長で一気に繁茂・・というのがよくあるストーリー。特にインパクトの累積が大きい箕面・鉢伏山、高槻・本山寺では大径木が根返りで倒れ、枯死木も倒れ、土壌流亡。森林生態系の劣化、健康な森林更新が危うい状況です。

参加者の声より

箕面ではオオサンショウウオ、本山寺ではムササビ、堺のメダカ、玉川峡ではアユの放流に遭遇！などなど、ホンモノを目の当たりにした参加者の声には、「インターネットや図鑑では知れない匂い、音、手触り」「楽しい」「驚き」から、さらに「当たり前だと思っていた自然の大切さ」「保全の必要性」などの気づきに満ちています。

同時期同地域で同種でも質、量の違いへの言及もあり、春のほんの1

日ですが、その地域らしさと価値、変化、課題を知る面白さと意義を感じいただけたことでしょう。

●トピックス●

「本山寺モミツガアカガシ林」自然共生サイト認定

自然共生サイトとは、2030年までに陸域水域のそれぞれ30%を健全な生態系として保全することを目指す国際目標「30by30」達成に向け、日本では2023年に民間による生態系保全が図られる区域を認定する制度が発足（環境省→現在は+農水省 国交省）。

大阪府では、2025年度第3回認定時点で20ヶ所、そのうち保全協会が関与しているのは本山寺他、The Day Osaka（舞洲）、紫金山・吉志部神社、堺第7-3区 共生の森の4ヶ所。最初に認定されたのは三重県伊賀市青山「羽根の森」。

それぞれ今後の保全に向けた取り組みが必須、注目しましょう。

第44回里山一斉調査・コース別動植物確認表

樹 木	ア オ キ	ア ケ ビ	ア セ ビ	ウ ツ ギ	ウ ワ ミ ズ ザ ク ラ	エ ゴ ノ キ	キ フ シ	ク ヌ ギ	ク ロ モ ジ	コ ナ ラ	ガ ノ ミ ツ ハ ツ ツ ジ	サ ク ラ	ダ ク コ ウ バ イ	ガ バ モ ミ ジ イ チ ゴ	ニ ワ ト コ	ヒ サ カ キ	フ ジ	ホ オ ノ キ	モ チ ツ ツ ジ	ヤ ブ ツ バ キ	ヤ マ ザ ク ラ	ヤ マ ブ キ	そ の 他
能勢・妙見	○	◎	◎	○	◎	○	◎	◎		○	◎					○	○	○	○	◎	○	◎	※凡例 ◎花が咲いていた樹木、草本 □つぼみ ○花が咲いてなかった樹木、草本 △他の名前であった樹木、草本 ※紙面の関係で、その他の欄に記載出来ない樹木、草本は 申し訳ありませんが省かせていただきました ※コースにより記録のない所がありますが、ないというわけではありません。
箕面・聖天山～オケ原池	◎	◎	◎						◎		◎	◎	◎			◎	◎		◎	◎	◎	◎	アカマツ・アカメガシワ・イヌザクラ・イロハモミジ・ウリハダカエデ・エドヒガン・ガマズミ・カマツカ・クマノミズキ・ケヤキ・サンショウ
池田・五月山	◎	◎	◎		◎			◎		◎	◎	◎	◎				○		○	◎	◎	◎	アカシデ・イヌシデ・イロハモミジ・エドヒガン・オオシマザクラ・クサイチゴ・スノキ・ツメイヨシノ・ニガイチゴ・ミツマタ
茨木丘陵・鉢伏山	◎	◎	○	○	◎	○		◎		◎	◎			◎	○	◎			◎	◎	◎		アラカシ・イヌビワ・イロハモミジ・ウグイスカグラ・エドヒガン・カンサイスノキ・クサイチゴ・クマノミズキ・コウヤボウキ・コバノガマズミ
高槻・本山寺	◎	◎	◎	○	○			◎	○		◎	◎	◎			◎	◎	○	○	◎	◎	◎	アオモジ
四条畷・田原の里山	◎	◎	◎	○	○	○		◎		◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎		○	◎	◎	◎	アカガシ・アカマツ・イヌシデ・イロハモミジ・ウラジロガシ・カヤ・コハウチワカエデ・シラカシ・スギ・ツガ・ヒノキ・ホノバトブ・モミ・ヤブニツケイ
八尾・高安山	○	◎			◎		◎	○	○		◎	◎	◎		◎	◎			○	◎	◎		アオモジ・オオイタビ(実)・オオシマザクラ・シキミ・ドウダンツツジ・ヒメヤシャブシ・ミツバアケビ
堺・鉢ヶ峯										◎	◎								◎	◎			アカマツ・カスミザクラ・クロマツ・サンショウ・ノイバラ・ミツバアケビ
泉南・畦の谷	○	◎	◎	○				○	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎		○	◎	◎	◎	ゴウウアケビ・ムベ
和泉・信太山		○						○		○	○	○	○			○	○	○	○	◎	◎	◎	アカメガシワ・アベマキ・イヌビワ・ウバメガシ・カクレミ・ノ・カマツカ・シデザクラ・ナンキンハゼ・ノダフジ・ハネミヤンエンジュ・ムベ・ヤマツツジ
泉佐野・大木里山	○			◎						◎	◎					○	○	○	◎	◎	◎	◎	アオモジ・トキワアケビ・ネズ・ミツバアケビ
河内長野・里山わびすけ	◎	◎	◎	◎	◎		○	◎		◎		◎			○	○	◎		◎	◎	◎		ナラガシワ・ハナйкаダ・マユミ
枚方・穂谷	○	○	○	○	○			◎		◎						○	◎		◎	◎	◎		
橋本・玉川峡	◎	◎	◎		◎	○	○	○		◎						○	◎	◎	○	◎	◎		カスミザクラ・ハナйкаダ・ヒメクロモジ
箕面・鉢伏山		○	◎	○	◎	○		○	○	◎	◎	◎				◎		○		◎	◎		アカマツ・エドヒガン・ウワミズザクラ・ウグイスカグラ・カナクギノキ・シキミ・ソヨゴ・リョウブ・ナンキンハゼ

[illegible]

哺乳動物	シカ	イノシシ	キツネ	タヌキ	イタチ	テン	リス	ムササビ	ノウサギ	モグラ類	ネズミ類	アライグマ	ヌートリア	ハクビシン	カエル	ヘビ	その他
能勢・妙見	◎	◎								◎					◎		シュレーゲルアオガエル
箕面・聖天山～オケ原池	◎	◎															オオサンショウウオ・テングチョウ
池田・五月山	◎	◎				◎									◎		ヌマガエル・ニホントカゲ
茨木丘陵・鉢伏山	◎	◎													◎		シュレーゲルアオガエル・カナヘビ・ニホントカゲ
高槻・本山寺	◎	◎	□	□		◎	□	◎			□	□		□			ムササビ・クマ・ニホントカゲ・ニホンカナヘビ
四条畷・田原の里山		◎								◎	◎						ビロードツリアブ・キチョウ
八尾・高安山		◎		◎	◎				◎		◎						モンキチョウ・ウスタビガ
堺・鉢ヶ峯		◎													◎		ヌマガエル・カナヘビ・スジエビ
泉南・蛙の谷		◎		◎	◎	◎			◎								アナグマ
和泉・信太山		◎							◎						◎		ニホンアカガエル・キタキチョウ
泉佐野・大木里山		◎								◎		◎					ヒョウモンチョウ・ニホントカゲ・クサガメ
河内長野・里山わびすけ	◎	◎	□					□		◎	□				◎		シュレーゲルアオガエル・カナヘビ
枚方・穂谷															◎		シュレーゲルアオガエル・ベニシジミ
橋本・玉川峡	◎	◎										◎			◎		カジカガエル・モリアオガエル・ヤマアカガエル・
箕面・鉢伏山	◎	◎								◎				◎			

※凡例

※コースにより記録のない所がありますが、いないというわけではありません。

鳥 類	ア オゲラ	ア オシ	イ カル	ウ グイス	エ ナガ	オ オルリ	カ ケス	ラ ハシボソ ガラス	ス ハシフト ガラス	カ ワラヒワ	キ シ	キ シバト	コ ゲラ	コ シユケイ	シ シユウカラ	ス スメ	セ	レ	イ	ツ グミ	ツ バメ	ト ビ	ヒ バリ	ホ オジロ	ヒ ヨドリ	ム クドリ	メ シロ	モ ズ	ヤ ブサメ	ヤ マガラ	ヤ マドリ	ル リビタキ	サ シバ	ソ ウシチ ヨウ	その他	
																	セ	レ	イ																	キ
能勢・妙見			◎	◎		◎	◎	◎		◎	◎	◎			◎			◎			◎			◎	◎	◎			◎			◎	◎	キビタキ・ゴジュウカラ・コシアカツバメ・サンコウチョウ		
箕面・聖天山～オク原池	◎		◎	◎						◎			◎		◎						◎			◎	◎	◎			◎				◎	◎	イソヒヨドリ・シロハラ・センダイムシクイ	
池田・五月山				◎				◎		◎		◎	◎		◎						◎			◎		◎		◎	◎				◎	◎	カワウ・コマドリ・シロハラ・センダイムシクイ・ダイサギ	
茨木丘陵・鉢伏山				◎					◎			◎				◎					◎			◎	◎	◎			◎							
高槻・本山寺	◎		◎	◎		◎	◎						◎		◎			◎			◎		◎	◎	◎	◎		◎		◎				◎	カワセミ・キビタキ・トラツグミ・ヒガラ・センダイムシクイ	
四条畷・田原の里山				◎					◎				◎	◎	◎	◎					◎			◎			◎		◎					◎	◎	スズガモ
八尾・高安山			◎	◎					◎			◎	◎	◎										◎			◎		◎					◎	◎	インヒヨドリ・キビタキ・コマドリ・シロハラ・センダイムシクイ
堺・鉢ヶ峯				◎					◎				◎	◎	◎	◎					◎			◎											インヒヨドリ・カワセミ・ケリ	
泉南・畦の谷		◎		◎				◎	◎	◎		◎				◎		◎			◎		◎		◎	◎	◎	◎	◎						カイツブリ・ケリ	
和泉・信太山		◎		◎					◎			◎	◎	◎	◎	◎					◎			◎			◎					◎				
泉佐野・大木里山				◎				◎	◎					◎	◎								◎												イソヒヨドリ・コシアカツバメ・タヒバリ	
河内長野・里山わびすけ			◎	◎		◎		◎				◎	◎											◎			◎									
枚方・穂谷				◎				◎				◎			◎	◎					◎	◎		◎	◎	◎										
橋本・玉川峡				◎					◎																		◎			◎						カワガラス・キビタキ
箕面・鉢伏山	◎		◎	◎		◎						◎			◎						◎			◎	◎		◎		◎					◎	◎	サンショウクイ・センダイムシクイ・ツツドリ